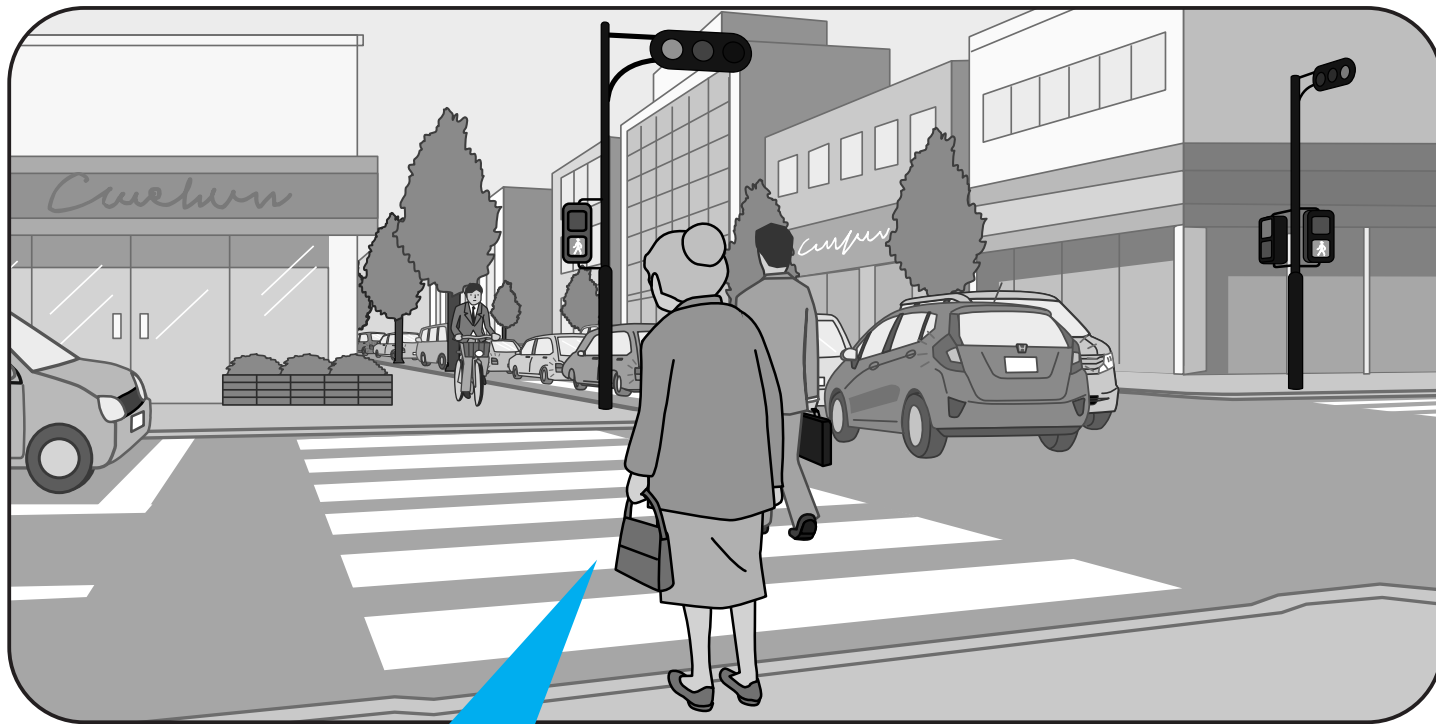


危険予測トレーニング(KYT) — 危険感受性を育てる

第35回 交差点を横断する時 (歩行者編)

交通事故を防止するためには、路上で出会うさまざまな危険を予測することが大切です。このコーナーでは危険感受性を高めるための題材を提供します。今回は歩行者に、交差点を横断する時の危険について考えてもらうためのKYTです。



活用方法

- ① 少人数のグループをつくりまします。
- ② 「交通場面のイラスト」を見せながら、意見を出し合います。
- ③ その後、「解答・解説※」を参考にして、どんなことに気をつけて運転すれば良いか再び話し合ってください。

※「解答・解説」と「交通場面のイラスト (カラー・A4版)」は下記SJホームページでご覧いただけます。またPDFファイルもダウンロード (無料) できます。

ホンダ SJ

検索

【使用上の注意】

- 営利目的での利用はおやめください。
- 内容の無断転載、無断改変、一部抜粋しての利用はおやめください。
- その他、使用に関するご質問はお問い合わせください。

本田技研工業 (株) 安全運転普及本部
TEL : 03 (5412) 1736
E-mail:sj-mail@spirit.honda.co.jp

あなたは歩行者信号機が青なので、横断歩道を渡ろうとしています。あなたの右側の車道はクルマが渋滞しています。

このような時、どんなことに気をつければ良いか考えてみましょう。

©本田技研工業 (株)

指導者ファイル 16

このコーナーでは、地域で活躍する交通安全教育に携わる指導者の方々を紹介していきます。



新潟県新発田市交通安全指導員の皆さん
写真左から、平野マリ子さん、菊地淳子さん

地元の方言を取り入れて
高齢者の記憶に残る指導をめざす

新潟県の北部に位置する新発田市は人口約10万人が暮らす中核都市だ。同市では年間232回 (平成24年度) にわたって幼児から高齢者を対象にした交通安全教室等を実施している。各地域の保育園や幼稚園での交通安全指導はもとより、駅伝大会や地域のゲートボール大会といったイベントでも積極的に交通安全の啓蒙・啓発に取り組んでいる。その中心となっているのが、新発田市地域安全課防犯交通係に所属する交通安全指導員の皆さんだ。

高齢者を対象にした交通安全教室を担当している菊地淳子さんは「高齢者の皆さんは健康への関心が非常に高いので、教室の冒頭では必ず体操を行います。また、地元の方言を積極的に使って親近感を持ってもらえるようにしています」と話す。

教室ではドライバー、自転車利用者、歩行者のそれぞれの交通安全ポイントを訴えている。また、参加者には新鮮な気持ちで交通安全に向き合ってもらおう、工夫を加えた伝え方でマンネリ化を防いでいる。取材に訪れた日の交通安全教室は、手品や普段は行われない交通安全落語などが2時間にわたって実施され、常に笑いが絶えなかった。

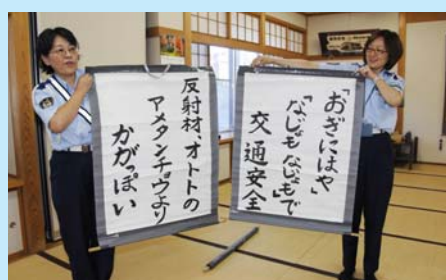
「現在、新発田市の交通安全指導員は31名 (男性11名、女性20名) です。保育士、体育指導員、児童館や高齢者施設の職員、元消防士とさまざまな経験を積んだ人が集まっています。年4回の指導員会議を中心に、皆でアイデアを出し合って充実した指導ができるように心がけています」と指導員の平野マリ子さんは言う。

★老人クラブ等で実施している
高齢者向けの交通安全教室



参加者に2つのイラストを5秒だけ見せ、違いを言い当ててもらおう。指導員が軽妙な言い回しで、「止まれ」の標識の意味や、反射材を身につける重要性を解説する

★方言や言葉遊びを活用して
交通安全への理解を深める教材



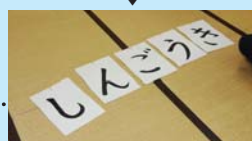
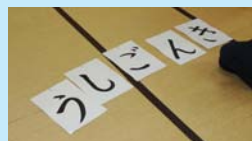
「アメタンチョウ=頭髪の薄い」「オト=夫」「かがっぽい=光ってまぶしい」を組み合わせ、反射材の重要性を訴求 (写真左)。写真右は「おぎにはや=ありがとう」「なじよもなじよも=どうぞどうぞ」を使って、譲り合いの気持ちの大切さを伝える

指導者の皆さんの活動を
動画でご紹介

<http://www.honda.co.jp/safetyinfo/area/movie/>



新発田地区交通安全協会の事務局長を務める井上信也さんによるマジックショーは毎回高齢者に好評。ハンカチ手品を通して信号機の色の意味について再確認してもらおう



ひらがなを並べ替えて単語を推測する。ほかに3文字版があり、文字数を増やして難易度をあげていく

SJクイズ ?

Q1 平成20～24年までの5年間における歩行中の交通事故死者数は7627人です。これを車両運転者の法令違反別にみると、最も多いのは「安全運転義務違反」(67.9%)ですが、2番目に多い違反は次のうちどれでしょう？

- ① 横断歩行者妨害違反*
- ② 交差点安全進行義務違反
- ③ 最高速度違反
- ④ 信号無視

*道路交通法第38条には横断歩道における歩行者優先を中心とした保護規定が定められており、この規定の違反が「横断歩行者妨害違反」と呼ばれている。



Q2 横断歩行者妨害違反による事故で死亡した歩行者 (平成20～24年・1064人) を年齢層別にみると、最も多い年齢層は次のうちどれでしょう？

- ① 19歳以下
- ② 60～69歳
- ③ 70～79歳
- ④ 80歳以上

Q3 横断歩行者妨害違反による事故で死亡した歩行者 (平成20～24年・1064人) を車両の進行方向別にみると、最も多いのは次のうちどれでしょう？

- ① 交差点直進
- ② 交差点左折
- ③ 交差点右折
- ④ 単路直進

※「解答」は8面下。「解説」は下記SJホームページでご覧いただけます。<http://www.honda.co.jp/safetyinfo/sj/>

©本田技研工業 (株)